



第1戦 5月15日(日)

石垣島

今シーズンのジャパンカップ初戦がいよいよスタートする。
それぞれの思いを胸に秘め、そのラインに足を揃える選手たち。
北京へと続く3年間のスタートラインをも意味するこの大会で、
彼らはどんな戦いを見せてくれるのか。

2005



ジャパンカップ始動!!

ここから始まる新たな旅

NTTトライアスロンジャパンカップ第1戦

2005ITUトライアスロン・ワールドカップ石垣島大会

2005石垣島トライアスロン大会

世界に誇る最高のステージ

5月15日(日)、NTTトライアスロンジャパンカップ第1戦・ITUトライアスロン・ワールドカップ石垣島大会が幕を開ける。

1996年にスタートしたITUトライアスロン・ワールドカップ石垣島大会は、今年で10年の節目を迎える。第1回大会から地元の心強いサポートを受けながら世界に誇る大会として成長を遂げ、いまや日本だけでなく世界のトライアスロンシーンを牽引している。

選手からの人気も高い本大会では、澄み渡る青い海、緑に囲まれた壮大なパノラマ、フィニッシュゲートへと後押しする沿道の声援が待ち受ける。そのどれもが選手らの心を捉え、いやが上にも志気は高まる。

今年も日本選手は表彰台を狙う

昨年は、女子はスイムでアネリーゼ・ヘルド(GBR)がリード。続くバイク3周回目には中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)、庭田清美(アシックス・ザバス)、下村真紀(兵庫県協会)らが第1集団を形成し、日本人勢が積極的にレースを引っばった。最終のランでは弱冠19歳のマキシム・シーア(AUS)が粘りの走りを見せ、

初優勝。一方男子はスイム、バイクと混戦が続いたが、ランに入ってベバン・ドカティ(NZL)、ドミトリー・ガーグ(KAZ)らがリードを守り、ドカティが優勝を飾った。

世界の有力選手がひしめくなか、アテネ・オリンピック代表の座をかけた日本人選手らも健闘を見せ、女子では庭田が2時間1分16秒で3位表彰台を獲得、男子は西内洋行(チームテイケイ)が1時間49分55秒で日本人トップの6位に入った。

若手の活躍に期待

ベテラン勢の活躍が目立った昨年に対し、今年は若手の成長がどの程度うかがえるかに期待したい。アテネ出場を果たせなかった悔しさをバネに、彼らはどのようなトレーニングを積み、この戦いに挑んでくるのか。そして、どこまでその力は世界に通用するのだろうか。

アテネが終わり、気持ちはすでに北京へと向いている選手たちにとって、ここ石垣島での戦いは新たなスタートを切る重要な一戦となるに違いない。

またこの大会には、エリート、エイジグループ合わせて26名の韓国選手が参加予定。日韓親善に一役買いそうだ。

Start ワールドカップ:女子13:00 男子15:45
石垣島トライアスロン大会:8:00~ウェブスタート

距離 ワールドカップ/石垣島大会:51.5km
(スイム1.5km、バイク40km、ラン10km)

テレビ放映 ワールドカップ:5月22日(日)16:00~17:20沖縄テレビ
石垣島大会:6月4日(土)15:25~15:55沖縄テレビ
その他石垣島ケーブルテレビ・NHK-BS1・海外90カ国以上(2004年実績)

Web <http://ishigakijima-triathlon.jp>

問い合わせ 〒907-8501沖縄県石垣市美崎町14
石垣市企画開発部観光課
TEL09808-2-1212 FAX 09808-2-1911

特別協賛 NTT西日本

歴代チャンピオン

	女子	男子
1996	エマ・カーニー(AUS)	マイルス・シュワート(AUS)
1997	エマ・カーニー(AUS)	クリス・マコーマック(AUS)
1998	エマ・カーニー(AUS)	グレッグ・ウェルチ(AUS)
1999	ロレッタ・ハロップ(AUS)	グレッグ・ウェルチ(AUS)
2000	リナ・ヒル(NZL)	カートニー・アキンクス(AUS)
2001	ロレッタ・ハロップ(AUS)	イワン・ラーニャ(ESP)
2002	バーバラ・リンクイスト(USA)	ピーター・ロバートソン(AUS)
2003	バーバラ・リンクイスト(USA)	グレッグ・ベネット(AUS)

2004Result

女子	順位	選手名(国籍)	タイム
1	マキシム・シーア(AUS)	2:00:25	
2	ミッシェル・ディロン(GBR)	2:00:36	
3	庭田 清美(アシックス・ザバス)	2:01:16	
5	中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)	2:01:44	
11	関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)	2:02:56	
男子	順位	選手名(国籍)	タイム
1	ベバン・ドカティ(NZL)	1:48:32	
2	ドミトリー・ガーグ(KAZ)	1:48:51	
3	ポール・エイミー(GBR)	1:49:09	
6	西内 洋行(チームテイケイ)	1:49:55	
21	田山 寛豪(チームテイケイ)	1:51:04	
27	高濱 邦晃(日本食研)	1:51:29	

